

レジリエントな社会への変革をリードする  
産官学連携横浜国際教育プログラム(YOKOHAMA-SXIP)

2023 年度派遣 募集要項

1. YOKOHAMA-SXIP の目的と概要

横浜国立大学が渡航費等を支援し、インド・オーストラリアの協定大学の学生とチームを組み、①現地対面・オンライン学修併用による SDGs課題に関する協働学修、②神奈川地区インダストリアルツアー・インターンシップ、③国際シンポジウムの成果発表等に取り組むプログラムです。

持続可能な未来社会創造する意欲を持ち、国際的に活躍する人材を目指し、積極的に取り組む参加者を募集します。

2. プログラム内容

- ①協定校の学生と対面・オンラインで SDGs課題の議論を行うグループ学修、現地で講義や文化・産業等を学ぶプログラムに参加。
- ②神奈川地区で SDGsに取り組む企業の事業所等を訪問し(インダストリアルツアー・インターンシップ)現場や製品に直接触れる。
- ③グループの協働学修による成果を国際シンポジウムにて英語で発表。

※協定校と本学を相互訪問(派遣と受入)する対面学修と、事前若しくは事後に行われるオンライン学修を組み合わせで行います。原則としてこれらのすべての活動に参加が必須です。

3. 派遣先

下記協定校の中のいずれか1校

インド パンジャブ大学 (Panjab University)

インド工科大学カンプール校 (IITK Kanpur)

アンナ大学 (Anna University)

ベロール工科大学 (Vellore Institute of Technology; VIT)

オーストラリア ニューカッスル大学 (University of Newcastle; UON)

グリフィス大学 (Griffith University)

#### 4. 派遣期間

協定校毎の派遣時期は次のとおり。いずれも現地学修が8日間以上です。

	パンジャブ大	IITK	アンナ大学	VIT	UON	グリフィス大
派遣時期	8月予定	8月予定	12月予定	12月予定	協議中	協議中

#### 5. 募集人数

1協定校につき3名程度。

※応募書類及び面接等により選考します。

※これとは別に、授業料・プログラム以外の渡航費用や宿泊費用等を全て自己負担して参加する場合の応募も受け付けます。

#### 6. 派遣費用

##### (1) 大学負担費用

授業料・プログラム費

往復航空運賃(関連諸税含む):羽田または成田～派遣先大学最寄りの空港  
国際線から国内線乗り継ぎ便待ちが発生した場合のホテル宿泊費用

##### (2) 自己負担費用 (別添:2022年度渡航の参考例)

\*季節的な要因や、派遣時の協定校の学内行事等に伴う施設等の空き状況により、金額に変更が出る可能性があります。

\*日本学生支援機構(JASSO)奨学金(詳細は後述の「9.」を参照)の受給者はこれを自己負担額に充てることができます。

宿泊費

渡航準備費(パスポート取得費、VISA取得費、予防接種・陰性証明取得費、等)

渡航諸経費(空港までの国内交通費、超過荷物輸送料、等)

現地往復送迎費用:現地到着日及び出発日の現地空港～派遣先大学校間

保険・危機管理サービス費(海外旅行保険料、OSSMA加入料等)

両替・送金等の際に発生する銀行手数料、等

派遣期間中の食費、日用品購入費、上記(1)以外の現地交通費、休日活動費等  
個人的な支出、等

#### 7. 応募資格

本学の正規の学生であること(留学生は除く)

協定校毎に指定した学部・学府の所属であること(詳細は下図を参照)

期間中のプログラムに積極的に参加し、他の参加者と協調しつつ、与えられた課題に対して締め切りまでに責任を持って取り組む覚悟と能力を有すること  
 応募の時点で少なくとも 2024 年 3 月末まで有効のパスポートを有している、あるいは確実に取得できる見込みであること。  
 なお、特別な配慮が必要な場合は応募までに本プログラム担当教員又はグローバル推進課国際企画係に相談してください。

	パンジャブ大	IITK	アンナ大学	VIT	UON	グリフィス大
経済学部	○					○
経営学部	○					○
理工学部	○	○	○	○	○	
理工学府	○	○	○	○	○	
環境情報学府	○	○	○	○	○	

## 8. 参加の条件

必修科目「SXIP 国際協働演習」(学部)又は「SXIP 国際協働実践演習」(大学院)を履修すること  
 派遣前に「海外安全講習」(E-learning)を履修すること  
 派遣前の事前説明会、帰国後の事後報告会に参加すること  
 全課題に責任をもって取り組むこと  
 帰国後は研修報告書等をグローバル推進課へ提出すること  
 帰国前・帰国後の語学スコアを提出すること

## 9. 日程

6月上旬 面接・選定結果通知、派遣者対象のプログラム履修説明会及び事前説明会参加  
 6月～9月 国際協働学修(協定校の学生とオンラインで事前学修)  
 8月～翌年3月 協定校へ派遣(派遣時期は前述4. 派遣期間を参照)  
 9月<sup>注2</sup> 協定校からの学生受入(グループ学修、神奈川地区インダストリアルツアー・インターンシップ等)  
 9月 協定校の学生との交流(土曜又は日曜にエクスカージョン(観光案内))  
 9月13, 14日 国際シンポジウムでグループ学修の成果発表  
 翌年2月 事後報告会

注2: 協定校により、9月以外の時期に学生受入となることがあります。

## 10. 日本学生支援機構(JASSO)奨学金について

海外留学支援制度(協定派遣)の資格・要件を満たす学生に奨学金を支援する。  
インドについては6万円、オーストラリアについては7万円が、各々支給される。

## 11. その他

本学の教職員による引率は全行程ではなく一部のみ。

YOKOHAMA-SXIP 副専攻プログラムの科目及び MAB/SDGS 副専攻プログラム  
における海外研修に相当する科目として申請可能。(卒業に必要な単位に算入さ  
れるかは各学部によって取扱いが異なります)

## 12. 応募方法

### 提出書類:

- ① 申請書(紙媒体並びに電子データ)。なお、申請書には「第1志望」、「第2志望」、  
「どこでも良い」のいずれかを記載のこと。
- ② 誓約書(紙媒体)
- ③ 成績証明書(紙媒体)
- ④ 学生証のコピー(A4 サイズ、紙媒体)
- ⑤ パスポート写し(カラー、A4 サイズ、「パスポート番号や顔写真のあるページ」、紙  
媒体)

### 提出先:

電子データ(提出書類①): yokohama-sxip@ynu.ac.jp (件名は「YNU SXIP2023 研  
修(第一希望の大学名)\_学籍番号\_氏名」)

紙媒体(提出書類①～⑤): 学務・国際戦略部グローバル推進課国際企画係  
(SXIP 担当) 窓口(学生センター2階)

応募締め切り: 5月31(水)午後2時

## 13. 選考方法

書類審査及び面接審査。面接日は6月上旬を予定。

## 14. 選考結果

6月9日(金)までに応募者全員に選考結果を通知します。

## 15. 問合せ先: 学務・国際戦略部グローバル推進課国際企画係(学生センター2階)

TEL: 045-339-3949/3109

e-mail : yokohama-sxip@ynu.ac.jp

(別添)

渡航先スケジュール例 (2022年度の参加者の声: <https://global.ynu.ac.jp/education/3041/>)

	IITキャンプル派遣 (2023年1月)	Panjab大学派遣 (2023年2・3月)	Anna大学派遣 (2023年2月・3月)
Day1	羽田→デリー (泊)	成田→香港→デリー (泊)	成田→クアラルンプール→チェンナイ (泊)
Day2	デリー→ラクノウ	デリー→チャンディガール	学生交流、市内見学
Day3	ラボツアー、表敬訪問、ミニシンポジウム	AM 表敬訪問 (副学長、学部長、学科長) PM ラボツアー"	講義
Day4	企業訪問 (ヒンドスタン航空機)	インダストリアルツアー (プロテクター製造企業)	研究室見学、市内見学
Day5	ラボツアー、ミニシンポジウム	カルチュラルツアー(シーク教寺院)	市内見学
Day6	研究室活動 (光弾性体を利用したセンシング。以下同様)	大学イベント (G20)	市内見学
Day7	研究室活動	見学	大学の図書館・研究室見学、市内見学
Day8	研究室活動	大学祭催し物	市内見学、日本語の授業に参加
Day9	研究室活動	インド祭り (ホーリー) 前夜祭	市内見学、大学内のイベントに参加、教授と食事
Day10	ミニシンポジウム	インド祭り (ホーリー)	チェンナイ→クアラルンプール
Day11	ラクノウ→デリー→	チャンディガール→デリー	→成田
Day12	→羽田	→香港→羽田	

	VIT派遣 (2023年2・3月)	Newcastle大学派遣(2023年2・3月)	Griffith大学派遣 (2023年2・3月)
Day1	成田→クアラルンプール→チェンナイ (泊)	羽田→	羽田→
Day2	ラボツアー、大学イベント (Quality Week)	→ブリスベン→ニューカッスル	→シドニー→ゴールドコースト
Day3	AM会談 PM講演、ラボツアー	ラボツアー、面談	AM キャンパスツアー PM 市内見学、シンポジウム
Day4	AM 表敬・会談、PM イベント (CHEM-A-THON)開会式)	ラボ滞在	学生交流、ワークショップ
Day5	イベント (CHEM-A-THON) 論文作成	ラボ滞在	ブリスベン市内見学
Day6	AMイベント(CHEM-A-THON) PMカルチュラルツアー(寺院巡り)	シドニー見学	休日
Day7	分析センター、排水設備見学 カルチュラルツアー (寺院巡り)	ニューカッスル市内見学	休日
Day8	AM 挨拶closing、PM 遺跡めぐり、最後挨拶	大学院授業見学	AM 講義 (貿易) PM講義 (ファイナンシャルプランニング)
Day9	インダストリアルツアー (高砂香料)	キャンパスツアー・ゼミ見学	AM 講義 (事業モデル) PMフィールドワーク (環境NGO団体主催の活動に参加)
Day10	チェンナイ→クアラルンプール	ラボ滞在・他のラボツアー	講義アジアの経済構造
Day11	→成田	ニューカッスル→ブリスベン→羽田	ゴールドコースト→シドニー→
Day12			→羽田

自己負担額の目安 (本文6. (2))

\*2022年度の参考例

	パンジャブ大	IITK	アンナ大	VIT	UON	グリフィス大
単位：万円 パスポート取得済みの場合	7	5	5	9	21	20
参考： 2022年度宿泊先と単価	大学宿舎 1泊約2,000円	大学宿舎 無料	大学宿舎 無料	大学宿舎 1泊約5,000円	ホテル利用 1泊約17,000円	ホテルまたはホームステイ 利用1泊約15,000円

共通経費	国内旅費：約10,000円 OSSMA加入、海外保険料：約7,000円 査証取得料：インド約3,500円、オーストラリア約2,000円)
------	--

食費の目安：インド1食500円～1,000円 (1日1,500円～3,000円)、オーストラリア1食1,000円～1,500円 (1日3,000円～4,500円)